

しもおさかきいわ なんじゃいそう
下仁田町下小坂柿岩の南蛇井層

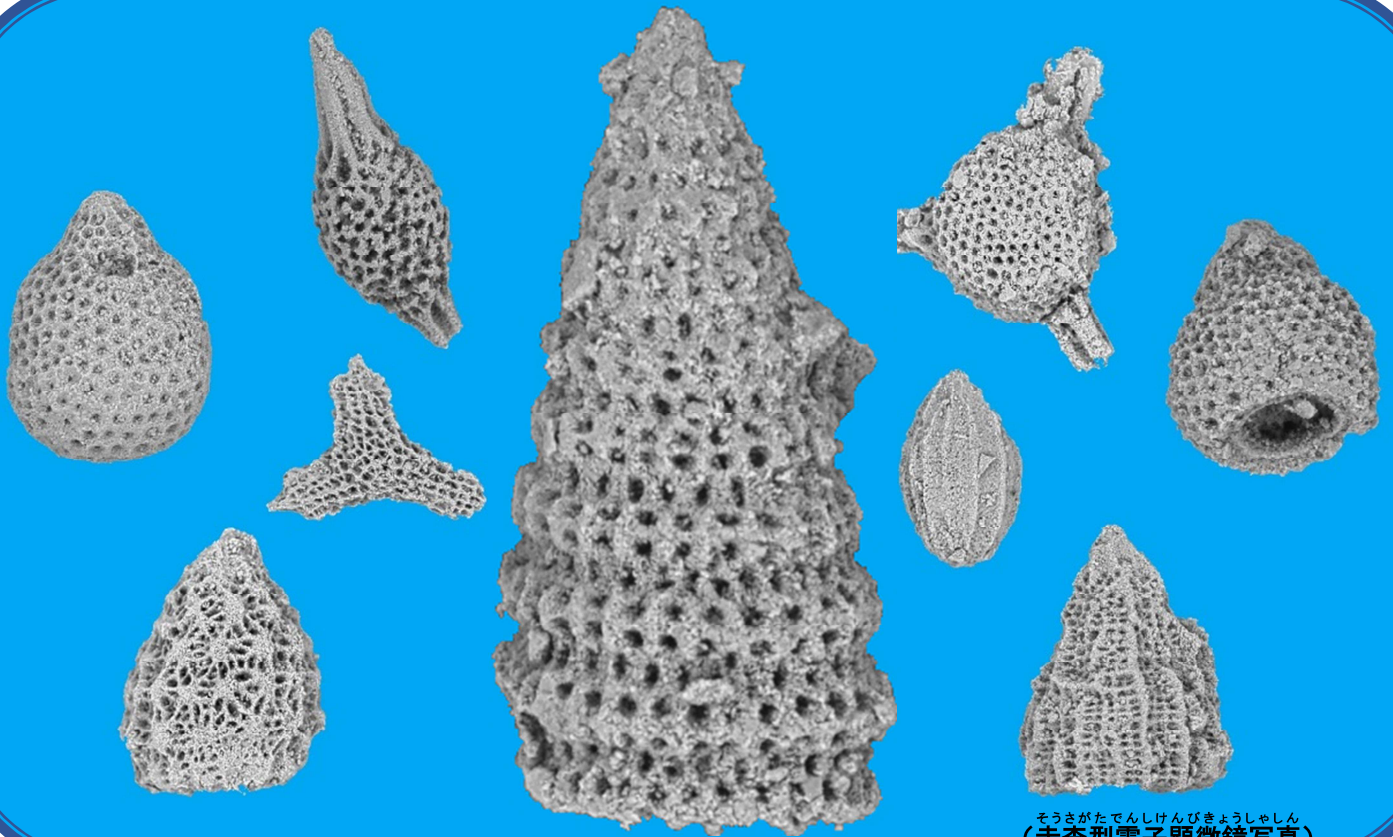
放散虫化石 (ほうさんちゅうかせき)



★ 産出地点: 下仁田町大字下小坂字柿岩

「放散虫」ってどんな虫？

約 5 億年前(古生代)に出現し、現在でも海に生きている動物プランクトンです。大きさは 0.1~0.2 mm ととても小さく、ガラス質の骨格こっかくをもっています。死後、殻からは泥しんかいていとともに深海底に堆積し化石となります。その化石の形から地層の堆積した時代がわかります。

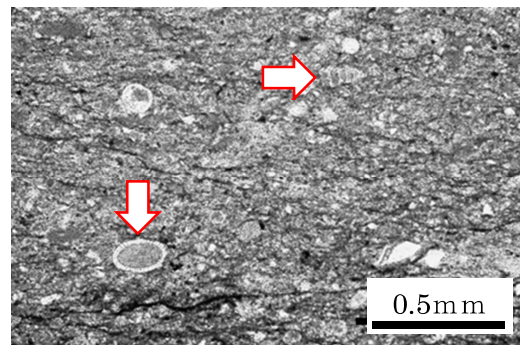


そうさがたでんしけんびきょうしゃしん
(走査型電子顕微鏡写真)

下小坂の珪質泥岩けいしつでいがんからみつかったいろいろな形の放散虫化石
= 今から約 1 億 5 千万年前(中生代ジュラ紀後期)の海に生きていた!! =



珪質泥岩のガケ



珪質泥岩中の放散虫化石 (偏光顕微鏡写真)

文献: 力田正一・松岡喜久次・鈴木紀毅・市川 孝・宮下 敦(2023): 下仁田町下小坂北方の南蛇井層から産出したジュラ紀後期放散虫化石 下仁田町自然史館研究報告 8 号

作成: 力田 正一・保科 裕・松岡 喜久次